

市政懇談会(中川公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月27日(土)19:00~20:30

参加者：100名(市民 84名、職員 16名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、  
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	<p>・農業について、先進的で稀な取り組みが取り上げられ、行政が応援して進められているが、国が言っているような競争力の強い農業経営体の育成は、過去全く進んでいないため無理だと思う。輸入農作物は輸出を考えた海外の経営体が行っており、とても敵わない。国の農政には疑問を持っており、これからも期待できないため、市では従前の小規模な農業経営規模を維持することに力を注ぎ、新鮮で安全安心、多彩な農作物が年間を通じて供給できるようにお願いしたい。</p>	<p>【市長】</p> <p>・新しい総合6次産業等はやっていく必要があり、全国でも光る取り組みであります。基本的には地産地消に心がけて、地域内循環をしっかり回していけるような状況を作っていきたいと思えます。</p> <p>また大規模農業、複合農業等の様々な組み合わせで、耕作放棄地を減らしていきたいと思えます。農業の総合6次化では、生鮮だけでは今後難しいため、日本の素晴らしい技術を活用して加工や貯蔵をし、マーケットを海外まで広げ、生産拡大できる状況を作っていきたいと思えます。以前と比べて農産物が減り、樹園地も放任園が目立つようになっており、田は圃場整備で押し上げていくと思えますが、丹原地区の優良な樹園地は、もう少し大きな形で再編をしていくべきだと思います。市だけでなく、JAや農家の皆さんが主体となり取り組んでもらうことが大事であり、JAとも協議を進めています。将来は後継者が生活の糧としてやっていける状況を作りたいと思っています。皆さんの後押しをお願いします。</p>	—	<p>・農林水産部</p> <p>・企画情報部</p>
2	<p>・市内の体育施設等は、65歳以上の人は無料化となっているが、市民サービスにも関わらず市外の方も無料化となっている。補助金等の見直しもしているように聞いているが、見直すべきではないか。</p>	<p>【保健福祉部長】</p> <p>・合併以来、西条市公共施設使用料減免条例により、65歳以上の方等の一般的に社会的弱者といわれる方を対象に、約50の公共施設の減免をしています。使用料金については市内、市外で差をつけている施設はあまり無かったと思えます。減免について財政的には差をつけることも考えるべきだとは思いますが、現在は市外の方の使用が多くなり市内の方が利用できないといった事例も無いため、市外の方が西条に来ることにより、西条の良さを知っていただき、お金も落としてもらえれば良いと思えます。今後、財政的に厳しくなれば考えていきたいと思えます。今のところは、市外の方も減免させていただきたいと思っています。</p>	—	<p>・保健福祉部</p>
3	<p>・矢倉神社境内の石経児童遊園のトイレの新設をお願いしたい。現在は汲み取り式で、蚊が多くトイレの穴も大きいため、遠足に来てくれる保育園等の子どもたちも安全に利用できない。災害時の避難所でもあるため、早急をお願いしたい。</p>	<p>【丹原総合支所長】</p> <p>・現在、丹原総合支所管内の公園等のトイレは15箇所ありますが、その内10箇所が水洗、5箇所が汲み取り式トイレとなっています。中川地区では石経児童遊園と中山川ふれあい公園のトイレが設置年度も古く、和式の汲み取り式となっており、衛生面からも改修が望ましく、生活様式も変わり洋式化にもなっているため、利用状況等を踏まえて仮設の簡易水洗トイレの計画的な整備について、検討していきたいと思っています。</p>	—	<p>・丹原総合支所</p>
4	<p>・有害鳥獣の駆除に関して、現在は捕獲した獲物の肉は均等に分けており、廃棄物は埋設処理している。今後、イノシシやシカの食肉、革製品の加工や廃棄物の処理等を市にお願いしたい。</p> <p>また、駆除隊員も高齢化により減っているが、有害鳥獣は増えている。山間部の過疎化により耕作放棄地が増え、人家に近いところまで下ってきている。猟友会もかなり成果を上げていると思うが、山が広いため対応しきれない。</p>	<p>【農林水産部長】</p> <p>・食肉加工について市でも検討しており、南予に加工場もあるため見学もしていますが、食肉加工は衛生面が特に大切で、捕獲後2時間以内の持ち込みが必要である等の厳しい制約があり、品質面からも全部引き受けることもできないため、経営が大変だと聞いています。今後の課題として考えていきたいと思えますが、今のところ単体でやっていくのは難しいと思えます。廃棄物処理については、焼却処理もできておらず、県内全域で問題となっています。今後、県内全域でこういった取り組みをしていくか、問題意識を持って取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>【市長】</p> <p>・有害鳥獣の駆除については四国中の市町村が頭を痛めています。サル、シカ、イノシシ等、補助金を上げてでも獲ってもらい、適正数に数を減らしていく以外にないと思えます。</p> <p>猟友会の方に加えて、檻やワナも増やしていますが、なかなか成果が上がっていない状況です。市でもいろいろ模索していきいますが、今後お願いします。</p>	—	<p>・農林水産部</p>

市政懇談会(中川公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月27日(土)19:00~20:30

参加者：100名(市民 84名、職員 16名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、  
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
5	・アメリカでは有刺鉄線の柵をしているそうだが、あまり経費もかからないと思うがどうか。	【農林水産部長】 ・有刺鉄線は安全面からも今は売られていないと思います。市の補助金もあるので、電柵や鉄格子を購入する場合は利用してください。	・市単独の補助事業として、有害鳥獣による農作物等の被害防止のために電気柵、防護柵、防護ネットの購入費の補助を行っています。補助金額については、電気柵等の購入費(消費税を除く)の1/2以内で、上限5万円です。	・農林水産部
6	・硝酸態窒素濃度が上がっているとのことだが、草が腐るときに硝酸態になると思う。丹原の扇状地は砂の層でできており、表面に少し土の層があるため、浄化されずに地下水に入っているのではないか。昔から高かったと思うので、健康への被害は分からないが、今更騒いでも仕方ない。	【生活環境部長】 ・水質調査を行う中で、硝酸態窒素の関係が判明しましたが、恐らく古くからあったと思われます。今後、県や愛媛大学等と協議し、解決策や、現状の実態の把握に努めます。	—	・生活環境部
7	・中川診療所について、赤字経営とは思いますが再開してもらって大変助かっている。気長に対応をお願いしたい。	—	—	・保健福祉部
8	・自治会未加入者の扱いについて、広報では加入するよう掲載しているが、来見ニュータウンでは約60戸の住宅に市内外から来ており、宗教上の理由で入らない等の事例がある。昔から居る人は自治会へ入るのが当たり前となっているが、亡くなった祖父母の家に孫が帰ってきて住んでも、別の地区で自治会活動をしており入らないという事例もあり、自治会としても対処に困っている。市の方で対策はあるか。	【市長】 ・全国的に自治会の加入率は問題となっており、西条市も非常に顕著です。県下でもここ何年かで軒並み約10%加入率が低下しており、西条市の市街地では5、6割のところもあり、未加入世帯が増えています。市も自主防災やごゴミの問題等で啓発をしようと呼びかけをしており、移住があれば市の窓口で加入のお願いもしていますが、周辺部はともかく、中心部はなかなか難しいです。分譲地の地主やマンションの家主にも加入のお願いを強くしていますが、市が強制的にする訳にもいかないため、限界もあります。地縁団体であるため、自主的に協調体制をとっていただきお願いしていくこととなりますが、市も一緒にしっかりやっていきたいと思っています。	—	・市民安全部
9	・関屋は自治会員で固まっていると思うが、地域での大変な問題の対応も、自治会がしっかりしていないと対応できない。県の職員も、最近現場の実態を知らないまま行政を進めているため、必ず自治会長に相談しながらやるよう言っているが、市にもお願いしたい。今後も荒れた墓地、空き家や農地等の地域の問題は、自治会で取り組まなければますますひどくなる。これまで地域で小規模の農業をしてきた、たくさんの方が地域と一緒に守ってきたため、一握りの先進的な経営体ができても、地域の問題は大勢の人でやらざるを得ない。そういう面でも、もう一度捉えなおしてほしい。	【市長】 ・過疎になると再生が難しい状況になるため、人の生活が非常に大事なものになります。自然の循環も守っていき、できるだけあらゆる皆さんが根を張って生活できるような環境を作っていかなければならないと思っています。その中で、これまでも自治会という形で結束して助け合いながら生活してきましたが、これからも守っていく必要があるため、市もそういう状況を作っていけるように努力したいと思っています。	—	・市民安全部

市政懇談会(中川公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月27日(土)19:00~20:30

参加者：100名(市民 84名、職員 16名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、  
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
10	・現在、人口は減ってきているが、組織が増えて いる。同じような組織がたくさんあり、同じ人がたく さんの組織に所属していて大変なため、消化する ような形となっている。同じような組織をまとめて いってほしい。	【市長】 ・確かに同じような組織はあるかもしれませんが。効率よく運営するのが大事です。いろいろな人 が、いろいろな所で経験や知識を活かして関わってもらいたいとは思いますが、スリム化していく ことも大事だと思うので、検討していきたいと思っています。	—	・企画情 報部
11	・四国に新幹線をとのことだが、電気が不足して おり、土地も無く、騒音も出て、若者が都会へ出 ていく交通機関になってしまい、在来線が赤字に なるため、あまりに無責任であり、私は乗り気では ない。	【市長】 ・新幹線も北海道に入り、残るは四国だけとなりました。瀬戸大橋も高規の橋桁を乗せれば新幹 線が通る規格となっており、岡山から乗り入れて、予讃線を引っ張ればいけます。今の試算で は、長崎等に入れるより、はるかに経済効果が高いと言われており、基本計画から整備計画へ 格上げをして、できるだけ早く四国へも引き入れてもらうようお願いしています。松山から大阪ま で1時間半で直結すれば、非常に良くなると思っています。徳島と高知は今まであまり盛り上 がっていませんでしたが、最近足並みも揃い、経済界や国の方をお願いしていこうと盛り上 がっています。鉄道縁の西条市としても、先頭に立って国をお願いしていきたいと思っていま す。	—	・企画情 報部